

## SARS-CoV-2PCR 検査におけるラボ運営体制の構築

◎関口 裕希<sup>1)</sup>、永井 友和<sup>1)</sup>、宮崎 有紀<sup>1)</sup>、内藤 麻美<sup>1)</sup>  
つくば臨床検査教育・研究センターつくば i-Laboratory<sup>1)</sup>

【はじめに】当施設は筑波大学附属病院と LSIM の産学連携により誕生した衛生検査所であり、2020 年 12 月より行政と外部医療施設の要望で SARS-CoV-2PCR 検査を開始することとなった。

都内にラボがある大手検査会社への出検は、結果報告までに時間を要するという問題があった。そこで、当施設では、顧客満足度の向上の観点から再検査を含め当日報告を実施しているため、運営体制について報告する。

【測定機器】全自動核酸抽出装置「magLEAD12gc」2 台、全自動遺伝子解析装置「GENECUBE」2 台

【評価方法】2021 年 6 月～8 月迄に SARS-CoV-2PCR 検査の出検のあった外部医療施設の検体について、ラボ到着時間・測定完了時間・報告完了時間を集計し、ラボ到着時間から報告完了時間、また再検査実施時の報告完了時間について評価した。また、検査案内に記載されている報告所要日数について、当施設と大手検査会社とを比較した。

【結果】ラボ到着から報告完了までの時間は、平均 1 時間 30 分であった。測定完了までは、日中(12 時～17 時)は

46 分、夜間(17 時～23 時)は 49 分であった。再検査実施時については、報告完了までは平均 2 時間 45 分、測定完了までは 2 時間 20 分であった。検査案内に記載されている報告所要日数は、当施設は当日、A 社は 2～3 日、B 社は 2～5 日であった。

【まとめ】検査結果が陽性の場合の再検査は、核酸抽出より実施しているが、ラボ到着から報告完了までの平均所要時間は 2 時間 45 分であり、大手検査会社と比べ迅速である。SARS-CoV-2PCR 陽性結果の迅速な報告は、陽性者の早期の隔離・治療に繋がり、COVID-19 まん延防止に貢献している。測定完了から報告完了まで約 40 分要したのは、検査機器から検査システムへの結果取り込みについてオンライン運用を実施していなかったことが原因である。現在、オンライン運用と PCR 夜勤当番を設定したことでより迅速な報告体制を構築しており、更なる顧客満足度の向上を達成している。

連絡先 029-850-1280